

出羽庄内国際村音楽祭 2025

アフリカの鼓動



10月19日（日） 出羽庄内国際村ホール

開 場／16:30 開 演／17:00

料 金／大 人 2,500 円 小中高生 1,000 円 （当日各 500 円増し）

チケット予約・お問合せ

出羽庄内国際村 ☎0235-25-3600

ホームページ <https://dewakoku.or.jp>

公演当日 特別ワークショップ（無料）

公演チケットをご購入いただいた方限定！
ヤヒロトモヒロ氏によるアフリカの楽器や文化の
ワークショップです。（※詳しくは裏面に記載）

◆主催 出羽庄内国際村音楽祭 2025 実行委員会

◆後援 鶴岡市・鶴岡市教育委員会

アフリカの鼓動



ワガン・ンジャエ・ローズ
(サバール)

父はセネガルの人間国宝ドゥドゥ・ンジャイ・ローズ。90年代後半、日本に移住しサバールドラム、セネガル文化の伝道師として各地でワークショップを開催。世界的なミュージシャンとの共演も多く、2000年には父のグループの一員として全米50ヶ所に及ぶツアーを行った。ジャンルを超えた表現力でアフリカ音楽の真髄を伝え続けている。



ファルー・セック
(ダンス、サバール、ヴォーカル)

セネガル共和国出身。伝統舞踏「サバールダンス」をメインに踊るダンサー。何代も続く伝統伝達者の家系に生まれ、幼少期より多くの催事に活躍してきた。その才能は多くのアーティストの目にとまり、クンバ・ガウロなど数えきれないほどの多くのアーティストと共演している。現地で日本人にダンスレッスンを行うなど日本との交流も深い。



ヤヒロトモヒロ
(パーカッション)

少年時代をカナリア諸島で過ごした異色の打楽器奏者。ウルグアイの至宝ウーゴ・ファトルーンとのデュオ「ドス・オリエンタレス」は、2016年在外公館長表彰受賞に続き、2022年外務大臣表彰を受ける。現在ドス・オリエンタレス、公開車庫、サロゲートトリオ、マレー飛鳥やフロレンシア・ルイスとのユニット等、国内外で活動している。



ヤクバ・ジャバテ／安田尚樹
(サバール、コラ)

1998年セネガルに渡り、現地の伝統打楽器サバールドラムを学ぶ。2011年西アフリカ・マリに渡りグラミー賞受賞の伝説的コラ奏者トゥマニ・ジャバテ師に師事、ヤクバ・ジャバテの名前を授かる。2018年来日したセネガル大統領の歓迎のためコラ演奏を披露、2020年東京フィルハーモニー交響楽団と共演。



野崎くらら
(パーカッション)

昭和音楽大学打楽器科卒業。4年間現代音楽の勉強に励む。2012年KOBE国際音楽コンクールではスネア1台で挑み奨励賞受賞。卒業後はジャズを学び、ミュージカル伴奏、元宝塚歌手のライブサポートなども行なっている。2020年NHKBSプレミアム放送「シンフォニック特撮ヒーローズ」出演。



オオカタ サキ
(サバール、ダンス)

2008年セネガル・タンバクンダのマスタードラマー、アブドゥライ・ジャキテ氏来日時にジェンベを習い始める。その後アブドゥライ氏の生徒でもある廣田真志氏に師事し、アフリカのリズムの基礎を学ぶ。先生方・先人達に恵まれ、現在は主にセネガルのサバールとマリのカソンケの人々の太鼓・踊り・および周辺文化などを併せて勉強中。

■楽器協力：パール楽器製造株式会社

ヤヒロトモヒロ 「アフリカの鼓動」特別ワークショップ 打楽器で世界旅行！ (ゲスト: 安田尚樹、野崎くらら、オオカタ サキ)

～アフリカの楽器や文化について学び、公演をより楽しもう～

- 《内容》①パーカッションのデモンストレーション
②アフリカ発祥の楽器や文化の紹介＆パフォーマンス
③音の体験(演奏体験及びヤヒロトモヒロ氏とセッション)
④ゲストによるパフォーマンス

■日 時 10月19日(日) 午後1時～2時半 (開演は午後5時から)

■参加費 無料 ※但し、「アフリカの鼓動」公演チケット購入者のみ対象

■お申込 出羽庄内国際村(Tel0235-25-3600)までご連絡ください。



出羽庄内国際村



▲Google map

鶴岡市伊勢原町 8-32

電話 0235-25-3600

E-mail info@dewakoku.or.jp

URL https://dewakoku.or.jp



鶴岡駅から タクシー 10分 / バス 20分
(羽黒山方面行バス→「出羽庄内国際村」下車)

鑑賞する機会の少ない様々な国や地域の民族音楽を紹介し、国際理解や交流を促進することを目的に、実行委員会形式で「出羽庄内国際村音楽祭」を毎年開催しています。

※実行委員は随時募集しています。